

Osaka Metropolitan University



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

大学院

看護学研究科

博士前期課程／博士後期課程



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

看護学部学舎
School of Nursing



博士前期課程

博士前期課程は、生命と人権の尊重を基盤として、看護に求められる社会的使命を遂行し、看護学を実践的・創造的に発展させ、地域社会及び国際社会のあらゆる健康レベルの人々に貢献できる高度な看護分野の実践者、管理者、教育者、研究者を育成することを目指しています。



定員

50名



学位

修士

(看護学)



標準修業年限

2年



国家試験合格実績

助産師
2025年度
100%(99.8%)

()内は全国での合格率を示しています。

取得可能資格

■専門看護師認定審査受験資格

がん看護、慢性疾患看護、小児看護、老人看護、精神看護、家族支援、感染症看護、急性・重症患者看護、在宅看護

■助産師国家試験受験資格

■保健師国家試験受験資格

■認定看護管理者認定審査受験資格 等

コース

■修士論文コース

助産師・保健師資格取得プログラムを含みます

■実践看護研究コース

高度実践看護者（専門看護師／Certified Nurse Specialist: CNS）、看護管理実践者（認定看護管理者）、看護教育者の育成を目的とします

各分野の特色

領域	分野	概 要	コース	Web
基幹革新看護学	看護技術学	看護技術は対象となる人々と医療者の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される実践的スキルであり、看護技術学はこの実践的なスキルと理論的知識が融合した学問である。これをふまえて看護技術学分野では、看護問題の解決に用いられる看護技術の科学的根拠やそれに関連する理論や新たな課題について探求し、看護の質向上に寄与する実証的かつ開発的な研究を行い、研究力を身につけることを目標とする。	修士論文	
	看護情報学	看護現象を科学的に捉え、複雑な健康課題を解決する力を育成する。具体的には、看護データサイエンス、ヘルスコミュニケーション、Evidence-Based Practice等の専門知識・技能を修得し、データや情報の活用力・分析力・解釈力を養う。さらに、疫学や統計学を基盤とした量的研究を通じて、看護実践の可視化や質の評価、健康増進や看護の質向上等に寄与する実証的な研究を行い、次世代の看護を支える研究力を身に付けることを目標とする。	修士論文	
	看護管理学	社会情勢の変化とそれに対応する保健・医療・福祉システムや組織のもつ資源活用に関して、看護管理学及び近接する学問領域の視点から分析し課題を明らかにするとともに、看護サービスの質の向上に寄与する看護管理のあり方を多角的に探求する。基本となる理論や考え方を学修し、概念化力、論理構成力、課題解決力、リーダーシップ力を養う。修士論文コースでは、研究遂行力に焦点を置き、実証的な研究を行う。実践看護研究コースでは、課題解決力に焦点を置き、組織開発を目指す実習と課題研究を行う。	修士論文 実践看護研究	
	看護教育学	看護基礎教育と継続教育という側面から看護専門職の発達や育成にかかわる要素を探索するとともに、看護教育学に関する諸理論および関連学問分野の知見を活用して、看護ケアの質を高めるための教育的役割と機能、教育方法、教育評価などについて探求する。その際、実践・理論・研究・教育をつなげて考えることを重視する。修了後は、看護基礎教育および継続教育において看護専門職の育成や発達に携わり、看護学教育の発展に貢献することを期待する。 修士論文コースでは、看護教育学に関する知識および理論を活用して、看護ケアの質の向上に資する教育に関する実証的な研究を行い、研究能力を培うことをねらいとする。 実践看護研究コース/看護教育者では、看護教育学において必要となる専門的な理論と実践能力を基盤に、高度な教育・研究能力を保持し、グローバルな視座を有する看護教育者を育成する。なお、実践看護研究コース/看護教育者においては、看護師等養成所の専任教員となるために必要な教育に関する科目を履修することができる。	修士論文 実践看護研究	
	健康基礎科学	基礎研究: 実験医学研究を行う上で必要となる生化学的・細胞生物学的手法を習得すると共に癌および動脈硬化・血管石灰化の治療応用への基礎となる研究を行う。 臨床研究: 統計解析手法を習得すると共にそれを用いて1)糖尿病合併症の発症・進展におけるバイオマーカーの役割や2)ワクチンの有効性・安全性ならびに接種忌避について研究する。	修士論文	
臨床革新看護学	急性看護学	周手術期及びクリティカルな状況にある患者並びにその家族への、高度な看護判断と看護援助を探求するとともに、QOLの向上に寄与するアセスメント、看護介入、アドボカシー、患者教育などに関する研究能力を養う。	修士論文 実践看護研究	
	がん包括ケア科学	本分野では、がん看護学と急性期看護学を二本柱とし、集学的治療ケアから支持療法ケア、緩和ケアを含むがん患者ケアと、手術室や救急・集中治療室を含む急性期看護を研究領域とする。患者・家族に対する看護ケアや看護管理に関わる多様な課題を総合的・全体的に探究し、問題解決能力を養い、新たな看護の創生につなげる。加えて、2026年度よりがん看護専門看護師(CNS)の育成にも取り組む。	修士論文 実践看護研究	
	慢性看護学	慢性疾患とともに生きる人の生活への身体的、心理的、社会的影響、その理解や看護に必要な概念や理論を学ぶとともに、慢性疾患の予防期から終末期までの看護支援に関わる知識や技術を修得する。また、家族の課題についても検討し、QOL向上に寄与する実証的な研究に取り組む。	修士論文 実践看護研究	
	感染看護学	看護ケアを行ううえで必要な感染防止技術や感染管理方法について科学的に探求し、感染看護の専門的知識・技術を修得する。また、易感染患者や感染症患者のQOL向上に寄与する感染看護実践のあり方や施設および地域における効果的な感染管理システムに関する実証的な研究を行う。	修士論文 実践看護研究	
	精神看護学	精神医療・保健・福祉の変遷に伴い拡大してきた看護の役割を踏まえ、精神の健康を維持・増進するために必要な看護理論や概念、および対象に応じた専門的な看護実践方法を修得する。また、対象となる当事者や家族を支える看護実践について探究し、実証的研究を行う。	修士論文 実践看護研究	

領域	分野	概 要	コース	Web
臨床革新看護学	小児看護学	現代社会の背景、親子関係、成長発達理論等をふまえて、子どもとその家族の健やかな成長発達のための援助方法を探求する。また、先天性疾患、急性疾患、慢性疾患、ハンディキャップ、メンタルヘルスの問題など、さまざまな状況にある子どもとその家族が抱える発達や健康に関する課題への看護援助について実証的な研究を行う。	修士論文 実践看護研究	
	子ども・家族ケア科学	小児看護学および家族看護学の発展に寄与することを基本理念とする。子どもの健やかな成長・発達を保障し、子どもと子どもをもつ家族の健康と幸福を実現するための支援方法を探求する。研究を遂行するプロセスを通じて、小児看護学・家族看護学の研究や実践に必要な基礎的能力を養う。	修士論文	
	家族看護学	家族を看護の対象とし、家族が本来有する機能と家族の健康に関するケア機能を高める援助を探索する。また、家族に生ずる健康問題、それに関連した要因への看護援助について家族看護の諸理論を活用し、実証的な研究を行う。	修士論文 実践看護研究	
	母性看護・助産学	マタニティサイクルにおける母子と家族の健康維持、増進ならびに疾病予防に対する看護支援、セクシャル・リプロダクティブヘルス/ライツの促進活動に寄与する看護について諸理論を活用して実証的研究を行う。また、医療・学校・福祉の多職種連携による協働支援について追究し、実証的研究を行う。 助産師資格取得プログラムでは、自律した助産ケア、母子への包括ケア、ハイリスク事例へ対応できる実践能力、管理的・経営学的知識などを有する専門職者を育成する。	修士論文	
	ウィメンズヘルスケア科学	ウィメンズヘルスケアに関連する理論や最新の知見、女性を取り巻く社会情勢をふまえ、女性のライフサイクル各期の健康問題やリプロダクティブヘルスを増進するためのケアを理論的、科学的に探究する。	修士論文	
地域革新看護学	老年看護学	老年期における複雑な健康課題を多面的に理解し、エビデンスに基づくアセスメントおよび看護実践の探究を通して、高齢者と家族の健康生活を支援する看護実践能力と研究的思考力を養う。修士論文コースでは、高齢者の健康課題を科学的に探究し、研究方法を体系的に修得する。実践看護研究コースでは、慢性期および認知症ケアをサブスペシャリティとし、高度実践看護を展開するための臨床判断能力と高い倫理観を涵養する。	修士論文 実践看護研究	
	在宅看護学	在宅療養者と家族の生活を総合的に捉えるアセスメント能力と、ケアマネジメントの理論・方法論、専門的看護実践の技法を体系的に修得する。また、地域生活文化に根ざした看護の探究や、療養移行支援、在宅ケアシステムの構築、ケアの質評価、教育、連携・調整、経営管理に関する知識と実践力を深化させる。これらの課題に対し、実証的研究を通して高度実践者としての基盤を形成する。	修士論文 実践看護研究	
	地域包括ケア科学	医療、介護、予防、生活支援、社会参加など学際的側面から人々のケアニーズにアプローチする地域包括ケアを探究する。地域包括ケアのモデルや支援の基本を理解し、療養者、虚弱な高齢者などケアニーズの高い人々の生活の質の向上と機能低下予防を目指す基礎的な研究を展開する。	修士論文	
	地域看護学	個人・家族、集団、地域・組織の特性に応じた健康の維持・増進を目指し、対象の現状とニーズ把握、支援方法や社会資源の開発、連携のあり方等について探求する。また、個人、家族および集団の健康指標、コミュニティやその構成員に関する質的・量的評価、顕在・潜在的健康課題の解決に向けた実践的研究を行う。 保健師資格取得プログラムでは、科学的根拠に基づき、保健師として自立して活動できる実践力を養い、健康政策の提言力、コミュニケーション・リーダーシップ力、学際的・グローバルな視点から公衆衛生看護学に寄与できる専門職者を育成する。	修士論文	
	ヘルスプロモーションケア科学	公衆衛生看護学を基盤として、地域で生活するあらゆる人々の健康と福祉の向上のために、人々の健康課題を的確に分析・予測し、かつ予防的に問題解決を図り、革新的な方策の開発等に資する研究能力と実践能力の開発をグローバルな視点から養う。 特に、国際的な研究能力の育成については、フィンランドのヘルシンキ大学やオウル応用科学大学とのweb交流等を通じて探求する。 保健師資格取得プログラムでは、科学的根拠に基づき、保健師として自立して活動できる実践力を養い、健康政策の提言力、コミュニケーション・リーダーシップ力、学際的・グローバルな視点から公衆衛生看護学に寄与できる専門職者を育成する。	修士論文	

博士後期課程

博士後期課程は、豊かな学識を有し、看護学分野において社会実装化することを視野に入れた学術的研究を推進し、その深奥を究め、高い倫理観を持ち、自立して研究活動を行い、看護学の知の創造に貢献できる能力を有する人材を育成することを目指しています。



定員

10名



学位

博士

(看護学)



標準修業年限

3年

各種制度

長期履修制度

社会人あるいは育児、介護などによって十分な学修時間を確保することが難しいなど、標準修業年限での修了が困難な学生には、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することにより学位を取得できる長期履修学生制度があります。

詳しくは本学Webサイトに掲載しています。

詳細は
こちら



経済支援制度

本学には、授業料減免制度（大阪府の授業料無償化等）や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。

各種制度に関する詳細や申請方法については、本学Webサイトに掲載しています。

詳細は
こちら



「学生募集要項」を確認してください

＜看護学研究科 入試情報サイト＞

https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs/



試験科目

	選抜方法	試験科目
博士前期課程	一般選抜	専門科目、英語、口述試験
	社会人特別選抜 *注	出願書類審査、英語、口述試験
	学部特別選抜 *注	出願書類審査、口述試験
博士後期課程	一般選抜	英語、口述試験
	博士前期課程特別選抜	出願書類審査、口述試験

*注 実践看護研究コース、助産師資格取得プログラム及び保健師資格取得プログラムでは、社会人特別選抜及び学部特別選抜での学生募集は行いません。

阿倍野キャンパス看護学部学舎・医学図書館



自習室

132席の自習スペースを完備し、集中して学習することができます。

保健師課程講義室

大学院の講義で使用されています。



共創エリア

大学院生同士の交流や食事など様々な用途で使える広々空間です。



助産演習室

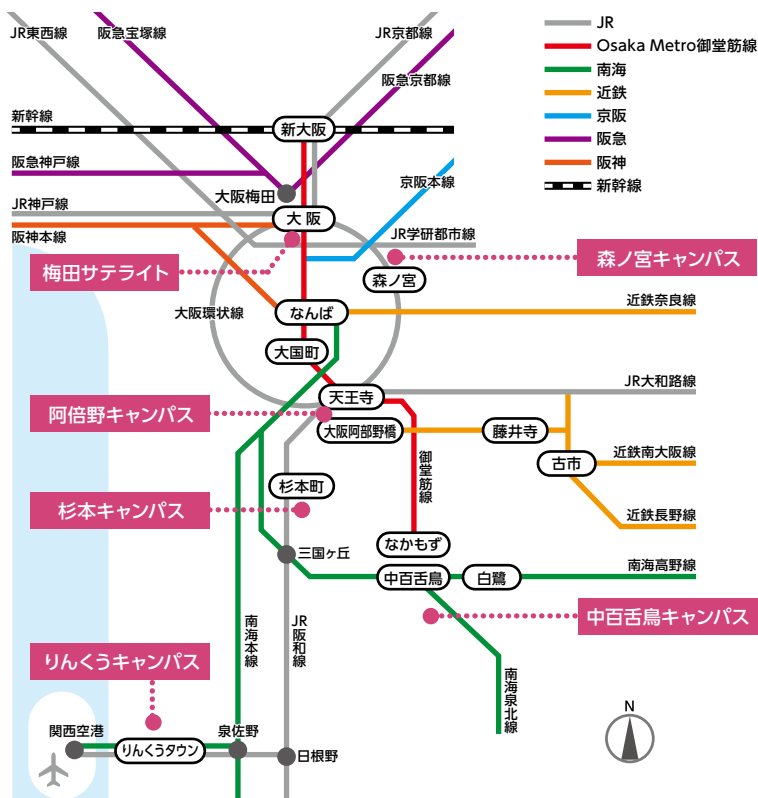
講義・演習や研究指導で使用されています。



阿倍野医学図書館

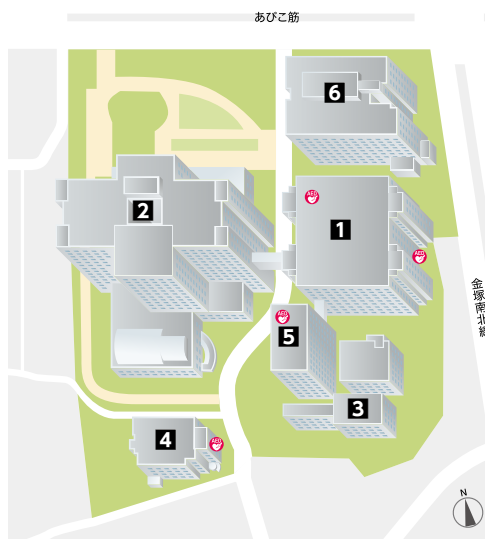
医学・看護学を中心とした図書・雑誌を有し、自己学習や研究活動に利用できます。

Access



Campus Map 阿倍野キャンパス

- 1 医学部学舎
・学務課〈医学〉
- 2 医学部附属病院
- 3 医学部南館
- 4 看護学部学舎B棟
・学務課〈看護学〉
- 5 看護学部学舎C棟
・学務課〈看護学〉
・医学部
スキルシミュレーションセンター〈SSC〉
- 6 あべのメディックス
・医学情報センター（6階）
・阿倍野医学図書館（8階、9階）



- ・大阪メトロ御堂筋線・谷町線「天王寺」駅下車、西へ徒歩約10分
- ・JR西日本大阪環状線・大和路線・阪和線・関西空港線・きのくに線「天王寺」駅下車、西へ徒歩約10分
- ・近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅下車、西へ徒歩約10分

阿倍野
キャンパス

医学部学舎(医学科)
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号
看護学部学舎B棟
〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号
看護学部学舎C棟
〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号

Information



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

阿倍野キャンパス 看護学部事務室(B棟)
〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号

06-6645-3511

月～金曜日(祝日及び休日を除く)
9:00～17:00(12:00～12:45を除く)